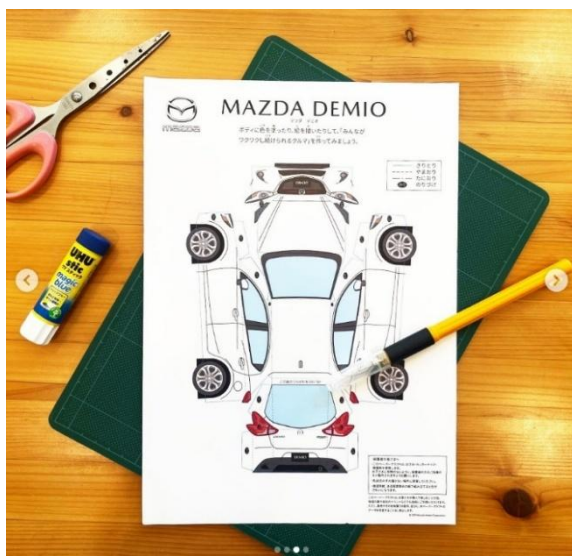




学童ホテル×神戸マツダが挑む、新しい地域共創プロジェクト始動 連携第一弾「未来のクルマ博士になろう！」を8/22(土)に開催 ～地域企業が子どもたちの先生に。“本物の仕事体験”で体験格差の解消を目指す～

家庭環境や経済状況によって子どもたちの体験機会に差が生まれる「体験格差」が社会課題となる中、一般社団法人ホロニック（所在地：神戸市東灘区、代表理事：長田 一郎）が運営する「学童ホテル」は、地域企業と連携し、子どもたちへ本物の仕事体験を届ける新たなプロジェクトを始動します。

第7弾となる企業パートナーは神戸マツダ。両者は、「子どもたちに本物の体験を届け、将来の夢や仕事への興味を育みたい」という共通の想いのもと、企業が持つ技術や仕事、人との出会いを地域へ開く新しいキャリア教育に取り組みます。今後は、神戸マツダをはじめとする地域企業との連携をさらに広げながら、企業が地域の「学びの場」となり、子どもたちの未来を地域全体で育む仕組みづくりを目指します。その第一歩として、2026年8月22日（土）、「未来のクルマ博士になろう！」を開催し、整備士体験やものづくり体験など、本物だからこそ得られる学びを届けます。

■開催の背景

「本物の体験」が、子どもたちの未来を広げる

学童ホテルは、「体験格差をなくしたい」という想いのもと、ホテルを舞台に企業や地域、行政と連携し、子どもたちへ“本物の体験”を届ける活動を続けています。料理や農業、伝統文化、スポーツなど、さまざまな分野のプロフェッショナルと出会い、実際に体験することで、子どもたちの好奇心や挑戦する心を育んできました。

一方、神戸マツダは、「人を育て、地域とともに未来をつくる」という考えのもと、子どもたちへの学びの機会づくりや地域社会への貢献活動を積極的に展開しています。ものづくりの魅力や働くことの喜びを伝える体験プログラムを通じて、未来を担う子どもたちの成長を支えています。

両者に共通していたのは、「子どもたちには、本物に触れる体験が未来を切り拓く力になる」という想いでした。今回のイベントでは、マツダが長年培ってきたものづくりの精神と、学童ホテルが大切にしてきた体験学習を融合。「つくる・触れる・考える・挑戦する」本物の体験を通して、子どもたちがものづくりの楽しさや働くことへの憧れ、将来の夢を描くきっかけを創出します。

お申し込みはこちら



<https://forms.gle/9xR4cqVMJkL7aALA>



Press Release

2026.6 | 2/5

イベントの見どころ

「未来のクルマ博士」を目指す、本物の仕事体験」

テーマは、「つくる・触れる・考える・挑戦する」

子どもたちは、マツダのスタッフとともに、ものづくりの現場を体験しながら、自動車の仕組みや整備の大切さを学びます。



体験プログラム内容

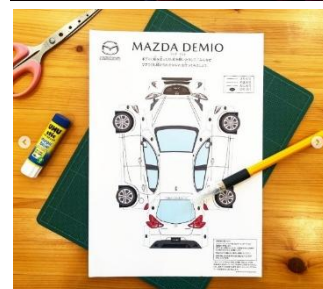
● 「マツダの歴史」や「クルマづくり」を学ぶシアタールーム体験

マツダの歴史やブランドに込められた想い、クルマづくりへのこだわりを映像で学びます。技術だけでなく、人を想うものづくりの精神に触れることで、これから体験するプログラムへの期待が高まる導入プログラムです。



● 世界に一台だけのクルマをつくる「ペーパークラフト」

マツダオリジナルのペーパークラフトを使って、自分だけの一台を組み立てます。クルマのデザインや構造に触れながら、ものづくりの楽しさや完成する喜びを体験できるプログラムです。



● 「レーシングシミュレーター」による運転体験

本格的なレーシングシミュレーターを使い、臨場感あふれるドライビングを体験します。クルマを操作する楽しさを味わいながら、安全運転の大切さや運転に必要な判断力・集中力についても学ぶことができます。



● 整備士の制服を着用して行う本物の整備体験。

マツダの整備士と同じ制服に身を包み、本物の車両を使った整備体験に挑戦します。現役スタッフから整備の仕事を学びながら、クルマの仕組みや安全を支える仕事の大切さ、ものづくりの奥深さを体感できる特別なプログラムです。



● 修了認定証の授与

プログラムを修了した子どもたち一人ひとりに修了認定証を授与します。本物の体験に挑戦した証として、達成感や自信を育むとともに、将来の夢や仕事への興味につながる一日を締めくくります。



など、子どもたちの好奇心を刺激する体験を用意しています。

また、保護者には最新のマツダ車の試乗体験やホテルパティシエ特製スイーツをご用意し、親子で楽しめるプログラムとなっています。

2026.8 | 3/5

マツダとの連携だからこそ実現できる価値

会場となる「神戸マツダイイベントスクエア」は、地域の人々にも開かれた交流拠点です。

自動車メーカーならではの設備や本物の車両を活用し、現役スタッフから直接学べる整備体験は、普段では味わえない貴重な機会です。

クルマを「見る」のではなく、「触れる」「体験する」ことで、ものづくりの奥深さや働くことの魅力を体感できるのは、マツダとの連携だからこそ実現できる価値です。



学童ホテルが届けたいこと-

「本物の体験」が子どもたちの未来を育む

学童ホテルは、家庭環境や経済状況に左右されることなく、すべての子どもたちに本物との出会いを届けることを目指しています。

企業や地域と連携し、実際に見て、触れて、考え、挑戦する体験を通して、子どもたちの好奇心や探究心を育み、「こんな仕事をしてみたい」「もっと知りたい」という未来への選択肢を広げていきます。

これからも地域や企業との共創を通じて、子どもたちの可能性を育む新しい学びの場を創出していきます。



開催概要

| **イベント名** | 未来のクルマ博士になろう！マツダの"ものづくり"を体感する特別キッズDAY

| **日時** | 2026年8月22日（土）【第1部】10:00～12:30 【第2部】13:30～16:00

| **会場** | 神戸マツダ イベントスクエア（兵庫県神戸市垂水区青山台8-1-70）

| **対象** | 小学3年生～6年生（学童ホテル1期生・2期生・一般）

| **定員** | 各回20名（親子参加）

| **参加費** | 無料（事前申込・応募多数の場合は抽選）

| **申込締切** | 満席になり次第終了

| **主催** | 学童ホテル（一般社団法人ホロニック）

| **協力** | 株式会社神戸マツダ

取材ポイント

- 子どもたちが整備士の制服を着て本物の車両を整備
- レーシングシミュレーターによる迫力ある体験シーン
- 世界に一台だけのオリジナルカー制作
- 保護者による最新マツダ車試乗体験
- 修了認定証授与・親子記念撮影
- 「企業×学童ホテル」による新しい地域貢献・キャリア教育の取り組み

株式会社神戸マツダについて

株式会社神戸マツダは、兵庫県内でマツダ車の販売・整備を行う自動車総合サービス企業です。「お客様」「地域」「社会・環境」「協力者（パートナー）」「社員とその家族」の5つの幸せ（5HAPPY）の実現を企業理念に掲げ、地域とともに歩む企業を目指しています。職場体験や小学生の社会見学、交通安全啓発、地域清掃、地域イベントへの協力など、次世代を育む社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に開かれた企業として、人と地域をつなぐ活動を続けています。

○ URL <https://www.mazda-hgr.co.jp/>



学童ホテルについて

学童ホテルは、一般社団法人ホロニックが運営する、ホテルを舞台に子どもたちへ多様な体験機会を提供する体験型プログラムです。「体験格差をなくしたい」という理念のもと、企業や地域、行政と連携し、料理や農業、ものづくり、伝統文化など、本物に触れる学びを提供しています。体験を通して子どもたちの好奇心や挑戦する心を育むとともに、保護者が安心して子どもを預けられる環境づくりにも取り組み、地域全体で子どもの成長を支える「第3の居場所」を目指しています。

○ URL <https://www.gakudohotel.or.jp/>



ホロニックについて

株式会社ホロニックは、「つながり、つなぐ」を理念に、地域資源を活かしたホテル運営を行うコミュニティ創造企業です。兵庫・滋賀・奈良・長崎でホテル「SETRE」を5施設運営し、2026年6月には東海エリア初となる「セトレ -channel名古屋」を開業しました。ホテルを拠点に地域の魅力を発信するとともに、人と人、人と地域をつなぐ新たな価値を創出しています。

○ URL <https://www.hol-onic.co.jp/>



本リリースに関するお問い合わせ ▶ 取材依頼、画像貸し出し、ご不明点などございましたらお気軽にお問い合わせくださいませ。

広報 担当：株式会社ホロニック 船木 久美子（フナギ クミコ）

E-mail：funagi@hol-onic.co.jp

TEL：078-858-6908 / 携帯 080-4071-6661

FAX：078-858-6909